

# 会津美里町後期観光振興計画

～ あいづみさと観光まちづくり推進プラン～

骨子案

令和2年11月



# 1 . 計画の目的

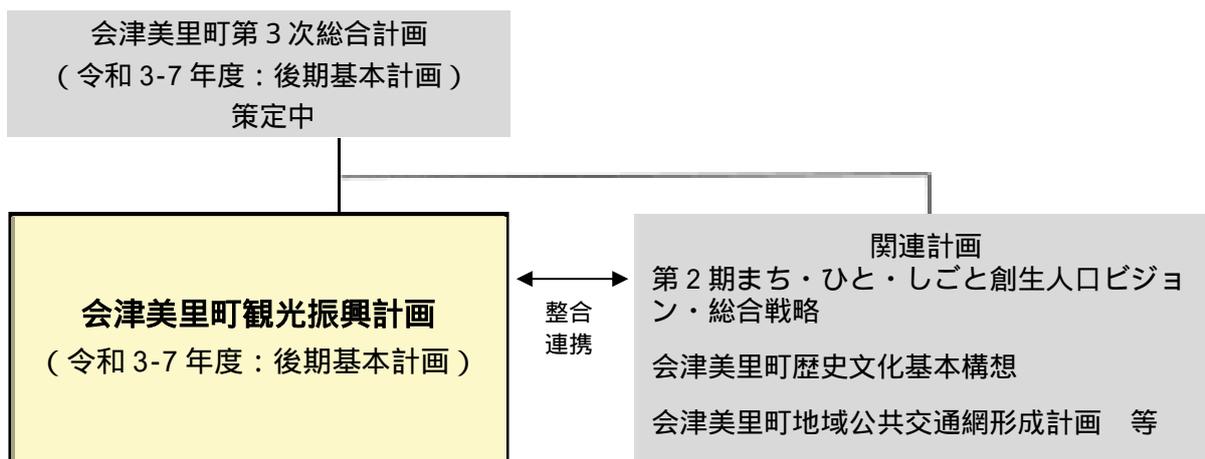
本町の観光行政においては、平成 27 年度に策定した会津美里町観光振興計画（以下「振興計画」という。）及び平成 28 年度に作成した会津美里町観光振興計画アクションプラン（推進事業計画）（以下「アクションプラン」という。）に基づく各種施策の実現に向けた事業を展開してきた。

令和 2 年度においては、前期の基本計画期間の最終年度であり、当該年度の事業実施とこれまで実施した事業を振り返り、後期基本計画の策定並びにアクションプランの作成を行う。

計画を策定することにより、実施主体、実施時期、さらには具体的な事業内容がより明確になり、実施主体において持ち味を活かした事業を展開することができ、目標としてあげた「観光入込数」と「観光消費額」のアウトカム指標の向上につなげていくことを目的とする。

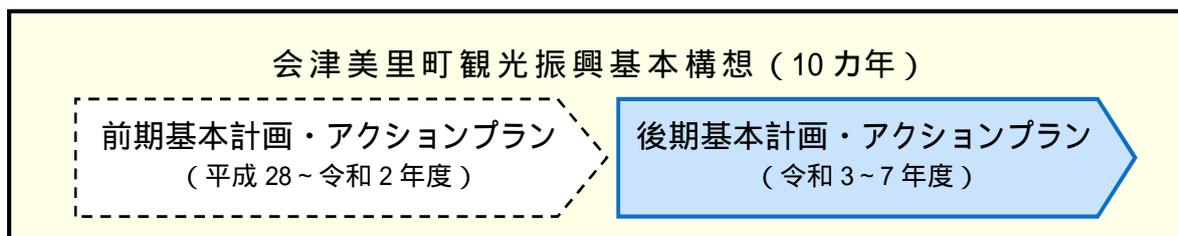
# 2 . 計画の位置づけ

本計画は、上位計画となる現在策定中の第 3 次総合計画後期基本計画、及び第 2 期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略等の関連計画と整合・連携を図る。



# 3 . 計画期間

本観光振興計画は、10 か年の基本構想と 5 か年の基本計画からなる。後期基本計画は、令和 3 年（2021 年）度から令和 7 年（2025 年）度の 5 か年とする。



## 4. 会津美里町の観光の基本的な考え方

後期基本計画では、基本構想における将来像及び基本理念を継承し、後期基本計画における見直しの基本方針を示す。これに基づき、前期に引き続き4つの施策の柱のもと、と10の戦略プログラムを示す。

### 《将来像と基本理念》

#### 【将来像】

いればいるほど元気になれる

うるわ  
美しの里

#### 【基本理念】

会津美里町の地域資源を活かし、  
人が主役となり、  
地域をつなげる観光地づくり

#### 【基本方針】

- **ボトムアップ志向の観光まちづくり**
  - ・地域資源を活かし、できることからコツコツと積み上げる
  - ・参加者の顔が見える観光まちづくりを推進する
  - ・離陸後には段階的に展開し、みさと型観光に結実させていく
- **選択と集中志向の観光まちづくり**
  - ・ターゲットの絞り込みと提供サービスを明確化する
  - ・限られた人・もの・資金を集中的に投資する
  - ・核になるプロジェクトからの展開シナリオを描く
- **協働と連携志向の観光まちづくり**
  - ・観光とまちづくりの協働、官民の協働により推進する
  - ・町内各地域の観光まちづくりを相互に支援する
  - ・明確なテーマに基づき狙いを絞った広域連携を展開する

### 《4つの施策の柱》

#### A. 観光地としての受け入れ 基盤整備

既存の施設を活用しながら、基本となる受け入れ基盤を整え、快適な滞在を実現するとともに、賑わいの再構築を目指す。

#### B. 着地型観光の確立

町の資源の発掘と磨き上げをさらに行い、美里の持ち味を十分に生かしながら、ターゲットに満足頂ける、ここならではの特別な体験を提供する。

#### C. 観光まちづくりの推進

町内各者の連携により体制を整え、多様な町民の参加により、観光事業を推進する。会津美里町らしさを積極的にPRし、認知度向上、来訪へとつなげる。

#### D. 地域連携による観光事業 の拡大

近隣地域と連携して地域の魅力を高めるとともに、効率的なプロモーションを図る。また、都市部や町外在住の町出身者等とのつながりを密にし、応援団を増やす。

《10 の戦略プログラム》

- 1. 基本的な受け入れ拠点の整備
- 2. 回遊と滞在を支援するインフラの整備
- 3. 利用者ニーズに対応した情報提供

- 4. 持ち味を活かした着地型コンテンツの開発
- 5. 農を活かした食の商品開発

- 6. 会津美里版観光まちづくりの推進体制の構築
- 7. 観光まちづくりへの町民の参加
- 8. ターゲットに応じた情報発信・プロモーション

- 9. 町外との連携による交流、誘客の促進
- 10. インバウンド誘致に向けた準備

《3 つのアクションプラン》

- 1: 観光資源、拠点施設を結ぶネットワークづくり
  - A. 個別観光拠点の強化
  - B. 美里めぐりのモデルルート化と商品化
  - C. モデルルートの環境整備と情報発信
  - D. 町民が美里の魅力を知る機会の創出

- 2: イベントから滞在につなげていく観光商品開発
  - A. 町民参加型の実行委員会によるイベント実施
  - B. 既存イベントを活かした日帰り・滞っておもてなしプログラムの開発
  - C. 農を活かした食の体験・商品づくり
  - D. 分散型宿泊と、温泉、ダイニング、お土産処が連携したおもてなし

- 3: 関係人口から観光・交流人口につなげるきっかけづくり
  - A. 外部サポーターの形成
  - B. 入り口となる情報発信の拡充
  - C. これらの事業を推進するための連携による体制づくり

## 5 . 計画の基本目標

会津美里町における観光産業の確立を目指し、現在の観光入込を基礎に、観光客の滞在時間の延長などによる消費額の拡大を図りつつ、入込数を拡大していく。そこで、一人当たりの観光消費額と観光入込客数を計画の全体目標とする。なお、目標値は、後期 5 カ年基本計画の最終年度である令和 7 年度とする。

### 基本目標

指標	現況値(R1)	目標値(R7)	算出方法
一人あたりの観光消費額【B】	2,527 円	円	・主な観光関連施設から入込数及び売上額（主力商品の平均単価）等のデータを集計し、これらの合計金額を合計入込数で割る。
観光施設における入込客数【A】	5.1 万人	万人	・入込数がカウントできる主な観光関連施設からデータを集計し、その合計。 <b>カウント施設修正予定</b>
観光消費額	1 億 2,877 万円	万円	(【A】 観光施設における入込客数) × (【B】 一人当たりの観光消費額)

寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く

### 個別目標 **事業内容に応じて修正予定**

施策の柱	指標	現況値(R1)	目標値(R7)	備考(データ入手)
A . 観光地としての受け入れ基盤の整備	観光宿泊客数	9,549 人	人	・各施設への聞き取り(行政が把握)
	観光レンタルサイクル貸出件数	111 件	件	・観光協会等で把握。
	<b>&lt;代替案&gt; インフォメーションセンター利用者数</b>			
B . 着地型観光の確立	会津本郷焼事業協同組合の売上額	154 百万円	円	・会津本郷焼事業協同組合への聞き取り(会津本郷焼振興計画)
	歴史文化事業・施設等への町外参加者数	1,224 人	人	・行政が把握
	<b>&lt;代替案&gt; 窯元での体験利用者数、モニターツアー参加者数、観光ガイド実施回数</b>			
C . 観光まちづくりの推進	ポータルサイトへのアクセス数	146,285 件	件	・町ホームページ及びミサトノ(観光協会)へのアクセス数。
	観光ガイドの回数	53 件	件	・観光協会で把握。
	<b>&lt;代替案&gt; 観光百人衆の投稿回数</b>			
D . 地域連携による観光事業の拡大	海外からのポータルサイトへのアクセス数	1,060	件	・町ホームページへの海外からのアクセス件数
	<b>観光施設への wifi 環境の整備箇所数</b>	7 カ所	カ所	・行政が把握
	<b>&lt;代替案&gt; 観光大使の登録数</b>			

## 6 . 戦略的方針

基本構想で設定した3つのターゲットについて、具体的な行動イメージと計画における対応を整理する。

ターゲット A は町の歴史資源や焼物等に関心のある既存の観光客で、特定の関心を深めたり、その他の魅力も体験するなど、滞在時間を延ばすための事業を展開することで、短期的な効果発現を図る。ターゲット C は、地域とのふれあいや風土を楽しむ志向の観光客で、ゆっくり滞在し深い交流を実現するための事業を展開し、観光客による口コミ拡大による PR 効果やリピーター効果を狙う。さらに、ターゲット A、B に対応したプログラムやサービスを磨き、発信することにより、他地域との差別化を図り、広域連携プロジェクトも取り入れながら、ターゲット B (近隣観光地へ来ている個人客または小グループ客) を取り込んでいく。

想定するターゲット	対応する主な町内資源	ターゲットに期待する行動	計画における主な対応
ターゲット A . 現在、会津美里町に 来ている観光客 (関係人口含む)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             特定の場所や物              を目指す人々           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中田観音、三十三観音巡り</li> <li>・伊佐須美神社、あやめ祭り</li> <li>・本郷焼窯元巡り</li> <li>・米、野菜、果物</li> </ul>	関心を深めるアクティビティに参加する。別の魅力資源に触れ、会津美里町を好きになる。飲食や買物、温泉を楽しむ。  主に日帰り想定(徐々に宿泊へ)	ターゲットを想定したイベントの開発と商品化(歴史、焼物等) 主要イベント時に合わせた関連プログラムの企画・実施 農を活かした食の開発 物産販売拠点の確保 外部パートナーの形成
ターゲット B . 周辺まで来ている 観光客 (会津若松、喜多方、 大内宿、奥会津等)  歴史や古い街並みが好き 会津が好き 東山温泉宿泊	A + B の資源	団体客ではなく個人客や小グループ客 A、B の行動	A + B A や B の志向を持つ観光客を取り込む (A や B に対応したプログラムやサービスを磨き、情報発信することにより、他と差別化)  特定テーマによる広域連携プログラムの開発
ターゲット C . 新たな観光客、インバウンド  若い世代、女性 首都圏、海沿い住民 インバウンド 異日常の旅(暮らすような旅) ワークেশョン  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             ふれあいや風土              を楽しむ人々           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドア、自然活動(キャンプ、サイクリング等)</li> <li>・ワイナリー</li> <li>・農業</li> <li>・四季折々の盆地や農の景観、生活文化</li> </ul>	地元の方と交流する。会津盆地の四季折々の風景を楽しむ 地元の食材を自ら調理して楽しむ。屋外活動の後、温泉、食、酒を楽しむ。中・長期滞在あるいは二拠点居住  主に宿泊想定 (数は少ないが、心に残る体験による情報発信効果、リピーター効果)	ターゲットを想定したイベントの開発と商品化(知られざる魅力の発掘と体験プログラム、アウトドア・キャンプ、自転車巡り等) 町内外の多様な主体の参加によるイベント等の実施 農を活かした食の開発 宿泊・交流拠点の整備 二次交通の高度化 会津美里まちねによるおもてなし体制の構築

## 7.10 の戦略プログラム

各戦略プログラムの具体的事業とその実施時期、実施主体を次に示す。

戦略プログラム	具体的事業	実施時期		実施主体
		短期	中期	
1. 基本的な受け入れ拠点の整備	立ち寄り拠点の拡充、整備 (インフォメーションセンター、物産販売拠点)	○	○	観光協会、振興公社、行政
	空き家等を活用した宿泊・交流拠点の整備 (COASA 等)	○		民間、行政
	ニーズに対応した温泉宿泊施設の再整備		○	民間または行政
	空き家の新たなマッチングの仕組みづくり	○		民間
	空き店舗等を活用した計画的な拠点整備		○	民間、行政
2. 回遊と滞在を支援するインフラの整備	観光施設整備事業 (案内サイン等)		○	行政
	街並みや背景となる田園景観の修景整備		○	行政
	二次交通の高度化 (レンタサイクルのサービス拡充等)		○	行政、観光協会
3. 利用者ニーズに対応した情報提供	回遊滞在に必要な情報 (散策マップ、宿泊、飲食店等) の適切な媒体での提供 (デジタル対応等)	○		行政、観光協会
4. 持ち味を活かした着地型コンテンツの開発	すでに来て頂いている方を満足して頂くコンテンツの開発 (歴史、焼物等)	○		観光協会、民間
	潜在的な魅力の掘り起こしと次世代やインバウンドを意識したコンテンツの開発 (知られざる魅力発掘、屋外アクティビティグリーンクラフトツーリズム等)	○		観光協会、民間
	ターゲットを想定したモデルルートの開発と商品化 (モニターツアー等)	○		観光協会、民間
	主要イベント時に合わせた関連プログラムの企画・実施	○	○	観光協会、民間
	観光ガイドの育成と持続可能な運営 (待遇改善等)	○		観光協会

戦略プログラム	具体的事業	実施時期		実施主体
		短期	中期	
5. 農を活かした食の商品開発	食のコンテンツ開発	○		観光協会、民間
	六次化などによる特産品開発、販路開拓	○	○	振興公社、民間、行政
6. 会津美里版観光まちづくりの推進体制の構築	連携による観光まちづくり推進体制の構築とDMO機能の構築（観光協会を中心とした連携体制、人材育成等）	○	○	観光協会、民間、行政
	会津美里まちホテルによるおもてなし体制の構築		○	民間、観光協会
	観光振興計画の進捗状況の確認、見直し	○	○	行政
	各種指標等のデータの把握とニーズ分析	○	○	観光協会、行政
7. 観光まちづくりへの町民の参加	町内外の多様な主体の参加によるイベント等の実施	○		観光協会、民間
	「観光百人衆」の拡充	○		民間、行政
	観光まちづくりに関わるテーマの勉強会等の開催（町民向けツアー等）	○		観光協会、民間
8. ターゲットに応じた情報発信・プロモーション	観光情報の充実と発信方法の検討（利用者目線によるポータルサイトの再整備とタイムリーな発信、モデルルートの発信）	○		観光協会、行政
	会津美里の魅力を発信するバーチャルコンテンツの開発、発信	○		観光協会、民間
	観光情報共有化推進事業（情報のワンストップ化、スマホに対応した物販・体験等の販売サイトの構築）		○	観光協会
	観光プロモーション推進事業	○	○	観光協会、行政
	観光百人衆等町民による、SNSを用いた身近な魅力情報の拡散	○	○	民間、行政
	9. 町外との連携による交流、誘客の促進	外部サポーターの形成（観光大使等）	○	
	広域連携による情報発信とプロモーション（近隣地域、友好・姉妹都市等）	○	○	観光協会、行政
	特定テーマによる広域連携プログラムの開発		○	観光協会、民間
10. インバウンドの誘致に向けた準備	インバウンド誘致に向けた戦略的な情報発信	○	○	観光協会

## 8 . 3つのアクションプラン

後期基本計画において、課題への対応と目標達成に向け、重点的に取り組むべき事業を選定し、これらをパッケージにより展開することで、地域内または町全体への波及効果が期待できる。

後期アクションプランでは、後期の基本方針のひとつでもある「つながり」や「連携」をテーマに、3つのアクションプランを設定した。アクションプラン1は観光資源や拠点など、今美里にある「もの」からの展開、アクションプラン2は、ものを活かしてつなげて生み出す「こと」からの展開、アクションプラン3は「ひと」からの展開として設定した。

さらに、これらを推進するにあたり必要な推進体制の構築については、「観光まちづくり推進体制アクションプラン」を示す。

### 【3つのアクションプランと推進体制アクションプラン】

アクションプラン1：観光資源、拠点施設を結ぶネットワークづくり

アクションプラン2：イベントから滞在につなげていく観光商品開発

アクションプラン3：関係人口から観光・交流人口につなげるきっかけづくり

観光まちづくり推進体制アクションプラン

3つのアクションプランについては、別紙 A3 参照

また、これらのアクションプラン全体を通じた年度毎の目指す姿を以下に示す。

### 【各年度毎の目指す姿】

1年目：連携による推進体制づくり、情報発信基盤の再整備、ニーズ調査

2-3年目：着地型コンテンツづくり

(イベント刷新+滞在プログラムの開発、モデルコース開発、食の開発等)

4-5年目：本格的に着地型商品の販売、観光協会のDMO化

## 観光まちづくり推進体制アクションプラン

観光協会は令和3年度より法人化予定で、新体制となるものの、これまでのイベント事業をやりながら、多岐に渡る観光事業を中心となって推進するのは、現時点では難しい。

そこで、当面の間、観光協会の下部組織として、テーマ別の「観光まちづくり推進ワーキングチーム」を設置し、ワーキングメンバーと連携しながら、企画検討や実施計画作成を行い、個別の事業を推進する。

また、観光協会は、これと並行して、必要な人事の確保や人材育成を行いながら、協会内の体制強化を図り、関係組織との協働連携により、将来的にはDMO的な推進組織の構築を目指す。

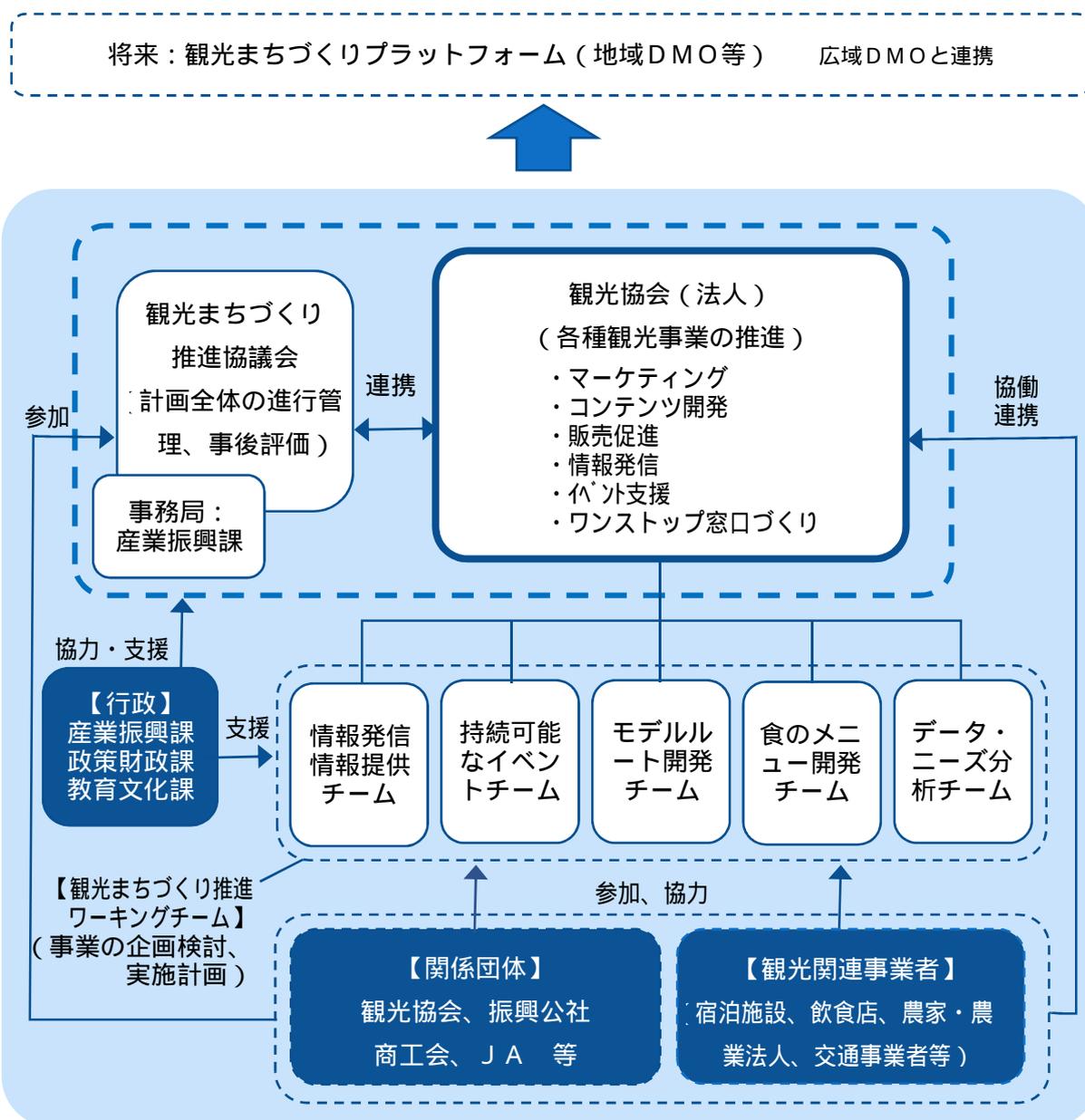


図 会津美里町における観光まちづくり推進体制図

## 9 . 計画の構成

本計画は序章及び3つの章からなる。序章では、計画の目的等に加え、前期計画の検証結果と課題について整理する。1章では将来像や基本方向を確認すると共に、前期結果を踏まえ見直した基本目標および戦略的方針について示す。2章では個別事業による基本計画を見直し、事業推進計画として後期アクションプランを整理する。最後に3章において、計画の推進体制と進行管理について示す。

### 会津美里町後期観光振興計画

#### 序章 計画の目的と前期計画の検証

- 1 . 計画の目的、位置づけ、計画期間
- 2 . 前期計画の検証と課題の整理

#### 1章 基本構想の見直し

- 1 . 将来像、基本理念、基本方針
- 2 . 計画の基本目標（全体目標、個別目標）
- 3 . 戦略的方針
- 4 . 基本構想の4つの柱

#### 2章 会津美里町後期観光振興基本計画

- 1 . 施策別個別事業の基本計画
- 2 . 後期アクションプラン

#### 3章 会津美里町における観光の推進体制と進行管理

- 1 . 官民連携による推進体制
- 2 . 観光振興計画の進行管理

#### 資料編